

高難度加工で生き残り

▽社長 大堀憲氏▽所在地 岐阜県各務原市蘇原寺島町1の9、058・389・1811▽資本金 800万円▽売上高 4億円(2011年3月期見通し)▽従業員 40人▽創業 67年8月

品質管理の高さが評価され、医療機器業界からの引き合いや受注も舞い込んでいる。「簡単な加工には手を出さず、1000分の1、μ級の精度が求められる難度が高い加工の受注を狙う」(同)方針だ。



大堀 社長

大堀 野の売上高は全体の10%に迫る勢いだ。

大堀研磨工業所



大堀研磨工業所は金属部品の研磨専門。手作業で操る汎用研削盤による多品種少量加工が強みだ。主力は工作機械用部品。だが2008年秋のリーマン・ショック後の受注減や顧客による生産の海外移管を受け「新しい事業の柱をつくらないと先はない」(大堀社長)と考え、航空機分野に参入した。岐阜県が設立した企業グループ「航空機部材研究会」に入会したり、航空機関連の商談会に参加したりして情報を収集し、自社を売り込んだ。結果、旅客機用油圧部品を受注し、10年2月に加工を開始。11年3月期の航空機分野の売上高は全体の10%に迫る勢いだ。